

授業科目名： 教育方法・技術論（情報通信技術の活用含む）（初等）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 齋藤俊則・仲 久徳 担当形態： オムニバス
実務内容 （実務家教員の場合）			
科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教育の方法及び技術／情報通信技術を活用した教育の理論及び方法 ※「情報通信技術を活用した教育の理論及び方法」について1単位（授業時間数：15時間）を含む		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 教育の方法及び技術、情報通信技術（ICT：Information and Communication Technology）を活用した教育の理論および方法  【到達目標】 ・教育方法に関する基礎的理論、授業、学習評価、情報通信技術を活用した教育の方法・技術に関する基礎的事項について説明できる。 ・教材研究の方法や授業の設計と展開、運営の方法について理解し、具体的なテーマに沿って学習指導案・教材を作成できる。 ・教材・授業における情報通信技術の具体的な活用方法を提案できる。 ・情報モラルの育成を図る教材・指導法を提案できる。			
授業の概要 本授業では、教育方法の基礎的理論、教材研究、授業の設計と展開、運営に関する基礎的事項や方法、情報通信技術を活用した教育方法・技術に関する基礎的事項について理解し、情報通信技術を活用した教材・授業、情報モラルの育成を図る教材・指導法などを具体的な場面で構想し、学習指導案を作成できることをねらいとする。			
授業計画 第1回 ガイダンス（担当：齋藤） 第2回 教育方法の基礎的理論（担当：齋藤） 第3回 授業を構成する基礎的な要件（担当：齋藤） 第4回 授業設計・教材設計の基礎的事項（情報通信技術の効果的な活用を含む）（担当：仲） 第5回 授業運営の基礎的事項（情報通信技術の効果的な活用を含む）（担当：仲） 第6回 学習評価・教育データの活用とセキュリティ対策（担当：齋藤） 第7回 情報通信技術を活用した遠隔・オンライン教育（担当：齋藤） 第8回 情報通信技術を活用した校務とマネジメント（担当：齋藤） 第9回 情報通信技術を活用と特別の支援を必要とする生徒への対応（担当：齋藤） 第10回 情報活用能力（情報モラルを含む。）の基礎的事項（担当：齋藤） 第11回 情報通信技術と授業・教材の実際（1）：学習指導案の作成（担当：仲） 第12回 情報通信技術と授業・教材の実際（2）：デジタル教材の作成・利用（担当：仲） 第13回 情報通信技術と授業・教材の実際（3）：情報通信技術を利用した授業運営（担当：仲） 第14回 情報通信技術と授業・教材の実際（4）：情報活用能力（情報モラルを含む）の指導法（担当：仲） 第15回 情報通信技術と授業・教材の実際（5）：授業研究と授業改善（担当：仲） 定期試験			
スクーリングでの学修 スクーリング（オンデマンド）では、第7回～第10回の内容を包括的に扱い、スクーリング（対面）では、第11回～第14回の内容を包括的に扱う。			
テキスト 稲垣忠（編著）（2022）『教育の方法と技術 Ver.2（改訂版）IDとICTでつくる主体的・対話的で深い学び』北大路書房、978-4762832123 文部科学省「教育の情報化の手引」について <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/mext_00117</a> .			
参考書・参考資料等 西岡加名恵（編著）（2022）『新しい教育評価入門〔増補版〕：人を育てる評価のために（有斐閣コンパクト）』有斐閣、978-4641174764 文部科学省「平成29・30・31年改訂学習指導要領（本文、解説）」 <a href="https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm">https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm</a>			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			